

産業チェーン責任者制と南京の 8 大産業チェーン



2021年3月24日～26日、南京を3日間の取材で訪れた。

40年前、北から南へ南京市を歩いて通り抜けるのに一時間余りかかったものだが、今では車を一時間余り走らせるとようやく高速鉄道の南京南駅を過ぎ、続いて南へ20分走らせて南京市溧水区に到着した。突然、道端に花が咲いた桜の木が見え、緑の芝生が広がっていた。丘陵が連なり、山は竹林に覆われ、とても美しい風景だった。南京にこんな桃源郷のような場所があるとは知らなかった。

溧水で幾人かの役人を訪問した。彼らの語る「産業チェーン長制度」を聞き、とても斬新さを感じた。米国の華為(ファーウェイ)などの中国企業に対する抑圧政策により、中国は完全な産業チェーンをつくりあげる重要性を認識し、新型コロナウイルスによりさらに地方の産業チェーン強化政策を加速させた。

南京は大上海の端に位置する。日系企業は上海に最も多く集まっていますが、その後に蘇州・無錫・昆山へと波及し、今では常州にまでは達しているものの、南京の日系企業はあまり多くないようだ。産業体制の完備性、研究開発などに必要な大学の数とレベルは、南京は中国の都市の中でもトップクラスにある。特に大学に関して言えば、南京は北京・上海に続いて中国で三番目に多い。人口的な要素からみると、現在周辺都市から続けて労働力を吸収できるのはやはり南京である。グレーター上海の今後の拡張には必然的に南京が含まれることになるだろう。

2020年7月に南京は関連する産業政策を発表し、産業チェーンを1. ソフトウェアと情報サービス、2. 新エネルギー自動車、3. 新医薬とヘルスケア産業、4. 集積回路、5. 人工知能(AI)、6. スマートグリッド、7. 軌道交通、8. スマート製造設備という8大分野の上でつくり上げていくとして

いる。基本的に中国の全体産業政策にそって計画がつくりあげられている。南京では関連する分野の下地がすでにつくられており、現在は産業チェーンを充実させるという方法により、8大分野を振興させようとしている。

政策は確実に行わねばならない。南京のやり方とは、産業チェーン責任者制度を樹立することで、「産業チェーン長」を設置し、産業チェーン長が直接その産業チェーンの強化の責任を負うというものだ。例えば江蘇省共産党委員会常務委員・南京市共産党委員会書記の張敬華氏はソフトウェア・情報サービスと人工知能産業チェーンの産業チェーン長となり、南京市の韓立明市長は新医薬とヘルスケア産業チェーンの産業チェーン長を務める。

こうした産業チェーン長制度は地方の産業チェーンの強化においてどのような役割を發揮するのか。3月26日溧水区が深圳で開いた「2021年南京製造業高品質發展試験区プロモーションイベント」の状況を見ると、当日深圳と18の製造業方面のプロジェクトを締結し、総投資金額は132億元に達したが、ここからも産業チェーン長制度が溧水においてすでに大きな力を發揮していることが見て取れる。

中国の地方政府の産業チェーン長制度が産業チェーンの整備の面でどのような役割を發揮できるのかは、注目に値することとなるだろう。



先益(北京)科技有限公司 總經理 陳言

(出典: 9月24日 知中to知日, WeChat 公式アカウント, 微信号 NEWS5931)